

「埼玉県ラグビー協会記念誌」 発刊によせて

埼玉県ラグビーフットボール協会
理事長 吉田 嘉 高

平成3年、新春、県スポーツ文化公園（仮称）の開園に際し、その主要施設である県営熊谷公式ラグビー場（仮称）の完成を記念して、埼玉県ラグビー協会の記念誌を発刊する運びとなりました。現在でこそ、埼玉県協会も大学・高校・中学校・社会人・クラブからラグビースクールを含めて登録180チームを擁する大所帯であります。協会発足時においては、ほんの数チームからのスタートであったと聞いております。そして、協会の歴史も40数年を数える経緯がありながら、今日まで活字として、協会の足跡を記録したものがありませんでした。

このたび、私達県協会ラグビー関係者が、長年にわたり強く熱望してまいりました公式ラグビー場の竣工記念に間に合うようにと、今日まで県ラグビーの普及、発展、充実に携わってきた多くの方々のご協力により無事編集が終了しました協会史ともいべき一編を、皆様におとどけ出来ますことを心より感謝申し上げます。

個人的なことですが、私が県協会の組織に係ることとなったのは、昭和40年以来です。当時は、丁度42年の埼玉国体の準備期間ということで、一人でも多くの関係者の確保が必要であったようです。

「清新・健康・協力」をモットーとして開催されました第22回国体（競技種目は他にバスケットボール、高校野球軟式）も、開催地熊谷市の関係各位及び全市民の献身的奉仕と協力により成功を収めました。

42年の国体開催時期までには、40年3月に熊谷市ラグビー連盟が発足し、41年5月の第14回関東高校ラグビー大会（国体リハーサル）や、42年5月の第4回東日本社会人ラグビー大会を開催するに当り、県協会と一体となって大会運営・競技運営の実績を培って行きました。

埼玉国体終了後、県協会の登録チームもクラブチームの新規参加により、組織の活性化も幾分見られた感がありました。協会主催の大会として、



熊谷市文化祭大会の名称で開催された秋の社会人大会も、50年頃には参加14チーム位の規模になって行きました。

そして又、43年1月に県協会の後援により開講された熊谷市教育委員会・熊谷市ラグビー連盟主催の熊谷少年ラグビースクールの堅実な歩みも、今日の埼玉県ラグビーの底辺拡大に貢献した面も見逃せません。その後、県内の数ヶ所にラグビースクールが新設され、そのスクールの卒業生の中から高校・大学へと進んで活躍するプレーヤーが出たことが、現在埼玉県の高校ラグビーが全国レベルの場に登場する、小さなことですがひとつの要因になっているかもしれません。

以上のように、埼玉県におけるラグビーは、グラウンドの関係で熊谷市営のラグビー場が、常に県内の各種大会の決勝戦等の会場となり推移して来た実情が、今回の公式ラグビー場の設置が、熊谷市上川上に決定した大きな要因でもあるようです。

最近における埼玉県高校ラグビーの活躍は各人衆知の如くであると思われませんが、県営ラグビー場の設置方の運動を展開したのは、丁度12年前、昭和54年4月、当時熊谷工（熊谷商工・熊谷商を通算して）が、12回目の全国大会出場を果たした年であったと記憶しています。

当時、私達関係者は、行政に対する働きかけを研究すべく有志で勉強会を開いたり、然るべき関係者の方からのアドバイスをいただいたりいろいろと苦労を経験しましたが、今にして思えば全て思い出にすぎません。

54年5月の県協会理事会で請願運動のための署名集めが決定され、請願書の作成が着手されつつありましたが、県の中期5ヶ年計画の見直しの時期に間に合いそうもなく、請願の事前行動として、54年5月22日、県知事以下関係部署に陳情を実施しました。その後、6月に請願書の提出、6月定例県議会での満場一致での採択、54年11月、新中期5ヶ年計画として、県北地域にスポーツ文化公園（仮称）の整備建設方針の決定を獲得しました。

55年7月には、当時の黒田熊谷市長を通じて、候補地の提供をということで県へ要請をお願いすべく、市への陳情も重ねました。56年2月の県議会で、設置場所の決定が熊谷ということで落ち着き、4月には、関係者及びご来賓をお招きして、中間報告会（感謝会）を開催したことも楽しい思い出となった訳です。

その後の建設予定地内での文化財埋蔵のトラブルや、その善後策としての「'88さいたま博覧会」の開催誘致、そして、最終的に、63年8月、小林熊谷市長よりラグビー場建設に関する要望書を、熊谷スポーツ文化公園にということで、県当局へ提出していただきました。

63年12月14日、平成元年度県当初予算案で、工事費の計上が発表され、平成3年3月のオープンに向けて正式に着工のゴーサインが出た訳でした。地元熊谷市長の強いバックアップと県当局関係者各位のあたたかいご理解に、本当に心より深く感謝申し上げる次第です。ありがとうございました。

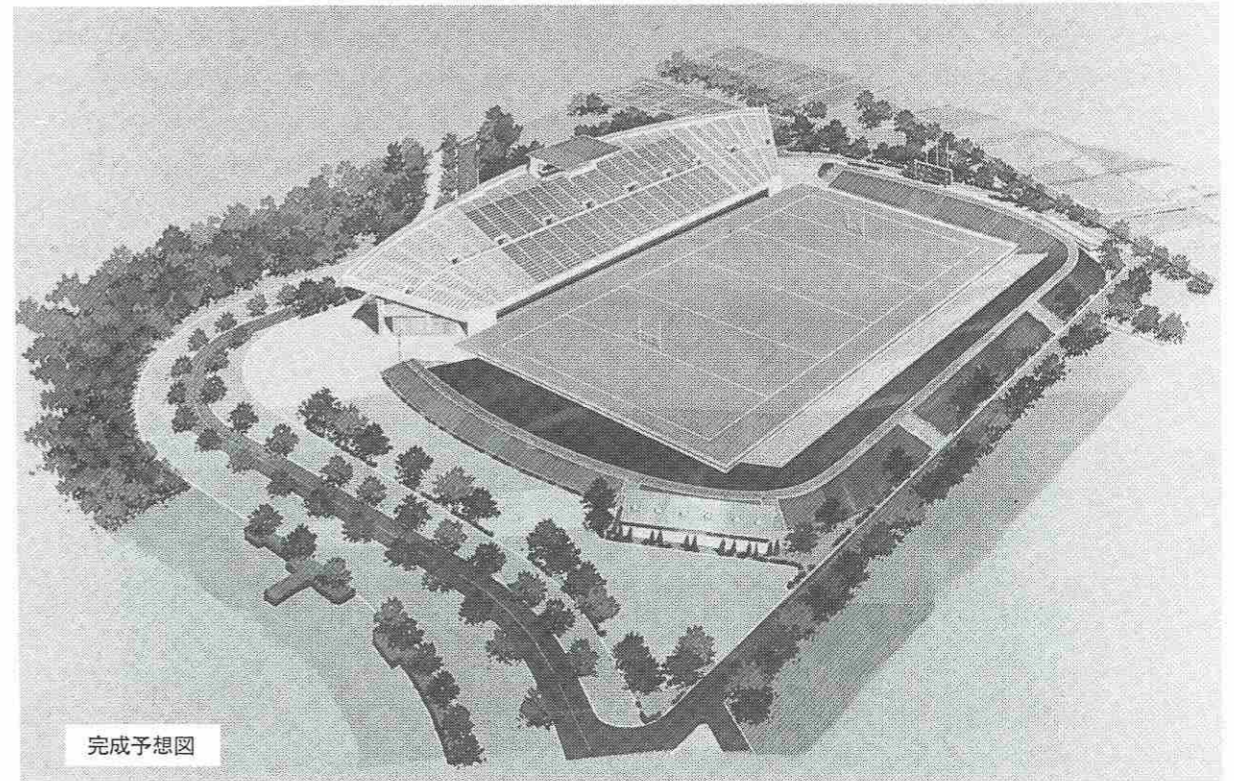
本年は、第2回のラグビー・ワールドカップが、英国、アイルランド、フランスの3ヶ国で10月に

開催されますが、日本もその出場権をすでに獲得しており、大いに活躍が期待されます。

私達協会関係者としては、今後は、緑の芝生豊かな埼玉県の県営ラグビー場での国際試合や県外チームの対戦による公式戦の開催にも努力して行きたいと考えております。

埼玉県民、地元熊谷市民を含めて関係者のあたたかいご理解、ご協力を心より願う反面、私達関係者がチームワーク良く一丸となって、大会運営等の実績を積み重ねて行く必要を強く感じております。何故なら、この素晴らしいラグビー場が、私達県民並びに県ラグビー協会の利用できる施設である以上に、関東ラグビー協会、日本ラグビー協会にとっても同様に、素晴らしい大事な財産であるべきだからです。

グレードの高い施設を利用しての、グレードの高い試合や練習を通じて、この新設なったラグビー場が県内、関東協会は勿論のこと、日本のラグビーの強化、発展に役立ってくれることを願って記念誌の一文といたします。



完成予想図